

新徳京ロープウェイ

安全報告書 2015



奥飛観光開発株式会社

1. 利用者の皆様へ

平素は新穂高ロープウェイをご利用いただき誠にありがとうございます。

弊社はお客様の安全確保を最優先に、全職員一丸となって安全運行に取り組んでおりました。しかしながら、平成27年1月19日に搬器衝突事故を発生させてしまいました。安全管理の取組みが十分ではなかったと宣告されたと感じております。同様の事故の再発防止対策をとるのみならず、安全マネジメント体制のさらなる向上に努めてまいります。

「自然環境との調和をはかり、安全と笑顔のおもてなしでお客様に感動を伝えます。」を合言葉に、お客様に安心してご利用いただき、喜んでいただけるロープウェイであるべく努力を続けてまいります。今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、平成26年度の安全輸送に対する取組みを広く皆様にご理解いただくために公表するものでございます。

皆様からの声を更なる安全に役立てたく、忌憚のないご意見ご感想を賜れば幸いに存じます。

奥飛観光開発株式会社

代表取締役社長 佐々嘉則

2. 安全に関する基本的な方針

(1) 行動規範

社長、役員及び社員は、次に掲げる安全に係る行動規範を理解し、輸送の安全確保を最優先に、お客様と地域から愛される「信頼のトップブランド」を目指します。

【行動規範】

- (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めること。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程等をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いをすること。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全方針と重点施策

当社では、安全管理委員会において、安全方針・安全重点施策を策定し、輸送の安全確保に取り組んでおります。

【安全方針】

法令順守と安全最優先
安全マネジメント体制の推進

【安全重点施策】 平成26年度の安全重点施策は、以下の3項目でした。

平成26年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
- 2 設備保守点検を強化し、施設故障の削減、自社責任による「事故ゼロ」を継続する。
- 3 ヒヤリハットを活用して安全基本動作・相互注意の徹底を進め、危険予知能力の向上を図る。

(3) 安全重点施策の実施結果

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
取扱細則他の改正に関する教育を4月に行ないました。毎月リーダーを決めて、それらに関する相互チェックを行っており、法令及び規定を順守していることを確認しました。今後も厳正忠実に職務を遂行していきます。
- 2 設備保守点検を強化し、施設故障の削減、自社責任による「事故ゼロ」を継続する。
過去の故障事例を参考にして、早めの部品交換をおこなうなど再発防止に努めると共に、経年設備を中心とした保守点検を実施しました。整備・運行各担当係員の連携を密にし、互いの「気付き」による報告を重視し、事前の事故防止に努めました。
残念ながら事故が発生してしまいましたが、事故発生後、再発防止策を策定し、係員に対して教育を実施、周知徹底を図りました。今後とも、更なる保守点検の強化に努めます。
- 3 ヒヤリハットを活用して安全基本動作・相互注意の徹底を進め、危険予知能力の向上を図る。
ヒヤリハット事例をフィードバックさせながら、OJTの取組みの中で危険に対する感受性を高めるよう教育してきました。
また、ヒヤリハット報告をきっかけとする安全性向上策を取り入れ、ヒヤリハットに対する意識向上を進めました。今後とも、さらなる安全活動に取り組んでまいります。

(4) 平成 27 年度安全重点施策の策定

平成 26 年度安全重点施策の実施結果を踏まえ、さらなる安全確保体制の向上を目指し、平成 27 年度安全重点施策を策定いたしました。

ヒヤリハットの活用を中心とした PDCA のスパイラルアップを図り、ソフト・ハード両面からの継続的改善、見直しに取り組んでまいります。

又、係員の自発的な行動につなげられる、主体的な教育・訓練の充実を図ります。

平成 27 年度安全重点施策

- 1 輸送の安全に関する法令及び規定を遵守し、厳正忠実に職務を遂行する。
 - ・業務内教育を通し、法律・基準・規則の基礎的な知識の習得を進める。
 - ・係員の理解度、浸透度を個別に把握し教育計画に反映させる。
 - ・安全最優先の意識を定着させ、係員の自覚を促し資質向上を図る。
- 2 設備保守点検を強化し、運行に係る安全を確保する。
 - ・整備課による施設の定期点検・巡回点検を強化し、施設故障、事故障害を未然に防ぐ。
 - ・報告と記録を確実に起こない、速やかな対処により事故障害を未然に防ぐ。
 - ・ヒヤリハットの分析、対策を図り、事故予防策の P D C A サイクルを確実に実行する。
- 3 異常気象時、悪天候時に適切な対応がとれる体制を構築し、事故発生をゼロにする。
 - ・異常気象時、悪天候時の対応を集中的に教育し、事故に対する責任感を持たせる。
 - ・管理職による安全巡視・指導を強化し、悪天候時の安全に対する問題意識を深める。
 - ・迅速な報告のため、連絡体制を見直すとともに、体制の底上げを図る。

3. 当社の安全管理体制

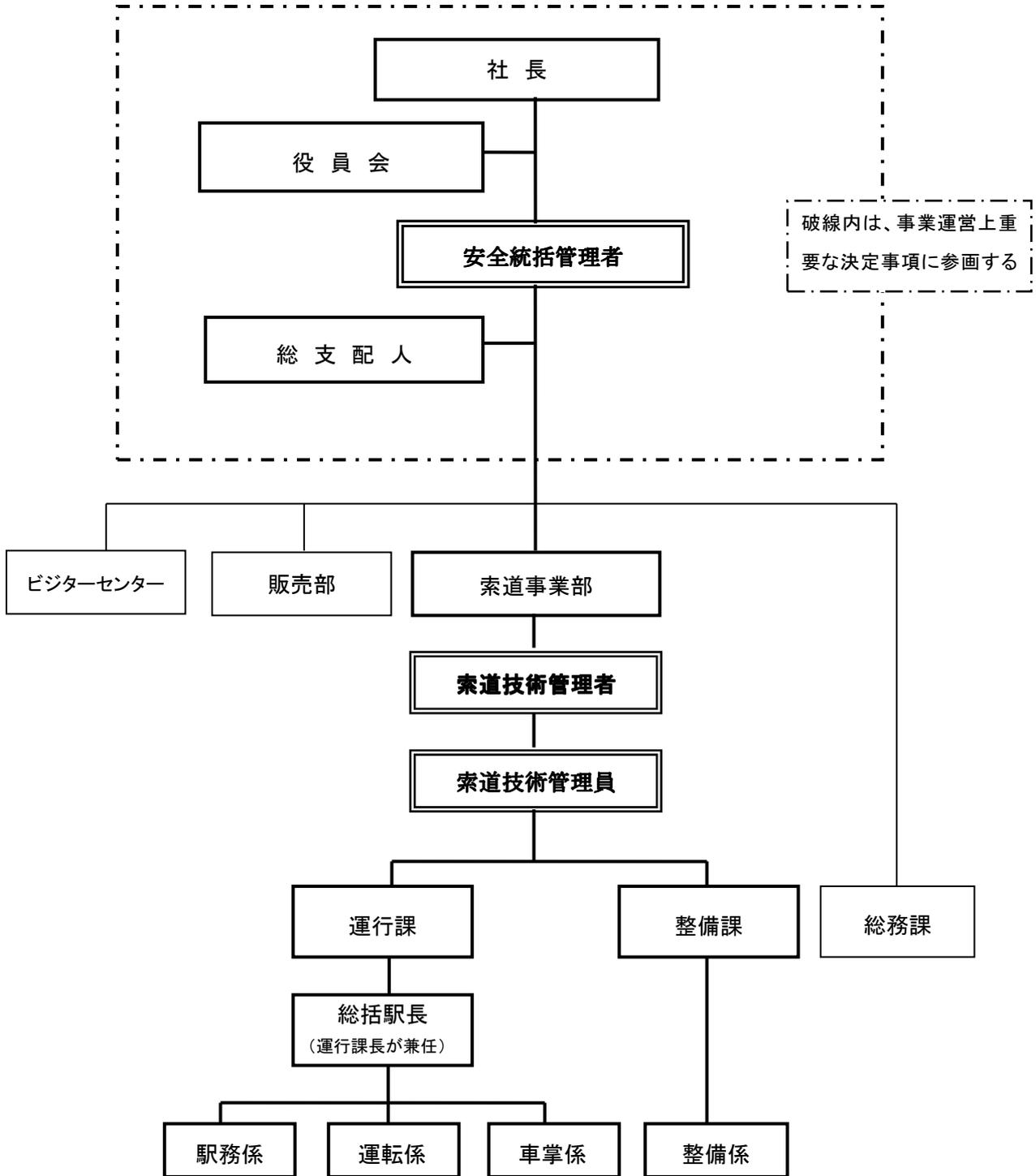
(1) 安全管理体制の確立

当社では、社長をトップとする安全管理体制を構築し、各責任者の役割及び権限は、社内規程によりその責務を明確にしています。

安全管理委員会において、より一層の運行安全確保に努めるため、安全マネジメント体制の維持・向上を図る施策を推進するとともに、安全運行に係る事項の情報共有、原因究明・対策を検討、実施しております。

新穂高ロープウェイ

安全管理体制図



(2) ヒヤリハット報告

当社では、各部署からのヒヤリハット報告を集約し、安全のための対策を策定しております。
平成26年度は396件の報告がありました。これら得られた情報を、PDCAサイクルに繋げていくことにより、さらなる安全活動の活性化に取り組んでおります。

(3) ヒヤリハット報告による改善事例

【報告】 インバウンドのお客様が危険箇所へ進入していた。

【実施】 英語併記の「立入禁止」表示板を取り付けました。



4. 平成26年度 事故等の発生状況

(1) 索道運転事故（搬器衝突事故）

当該事故が1件ありましたので、発生状況、原因とその対策についてお知らせします。

第1区線における搬器衝突事故

【発生日時】 平成27年1月19日（月）午後12時03分

【概要】 駅員が平衡索の異常な揺れに気づき、ゴンドラを停止させた。乗務員に状況確認したところ、ゴンドラの後側が損傷したと報告を受けた。徐行運転にてホームに回収した。

【原因】 局所的に発生した突風により、ゴンドラの揺れが増幅し、支柱に衝突したと推定。

【再発防止】 風向風速計の追加設置。

運転室において風向風速を一括監視できる表示器の設置。

異常風速発生時の自動停止機能追加。

衝突現場付近に吹き流しを設置。

(2) インシデント（事故の兆候）

平成 26 年度、該当するインシデント事項はありませんでした。

5. 安全確保のための取組み

(1) 人材教育・育成

毎月リーダーを定めて、基本動作の相互チェックを行なった他、集中的な安全講習を 3 回行ないました。



(2) 緊急時対応訓練

ロープウェイが運行途中で動けなくなった事態を想定し、救助訓練を 3 回行ないました。それに合わせて、非常時通報訓練を実施しました。

また、12 月には高山消防署の協力を得て、AED の使用など、人命救助に関する訓練を行ないました。



(3) 安全のための投資と支出

平成 26 年度は、第 1 区線の主原動機及び制御盤の更新、第 2 区線のゴンドラ整備他、索道の機械・電気設備の保守に関する整備・点検・工事に約 97 百万円を投資しました。

今後も安全・保安対策を計画的に実施し、さらなる安全性の向上を推進します。

6. ご連絡先

【本 社】

〒 506-0053

岐阜県高山市昭和町1丁目165-1

奥飛観光開発株式会社

TEL : 0577-33-0517

FAX : 0577-34-7101

ホームページ : <http://www.okuhi.jp/>

【事業所】

〒 506-1421

岐阜県高山市奥飛驒温泉郷

神坂字巾平710番地79

新穂高ロープウェイ

TEL : 0578-89-2252

FAX : 0578-89-2815

※ メールをご利用される方は、ホームページ内の「総合ご案内」よりお寄せ下さい。

平成27年（2015年）9月発行